

平成24年度より、横浜市立小・中学校では、全142ブロックで「横浜型小中一貫教育」が全面的にスタートしました。「横浜型小中一貫教育」とは、敷地や校舎を共有するなどの物理的な条件に関係なく、小中学校教職員が情報交換や連携をして、義務教育9年間の連続性を図った小中一貫カリキュラムに基づく教育活動を推進することです。このことによって、子どもの学力向上や児童生徒指導上の課題の解消を目指します。

上白根中学校ブロックの小中一貫教育について、紹介します。

横浜型小中一貫教育

上白根中学校ブロック

＝ 9年間で育てる子ども像 ＝

- 基礎・基本の学習の習得に努め、ともに学び続けられる子ども
- お互いに認め合い、心と体を健やかに、正しく判断でき、行動できる子ども

上白根中学校ブロックは、四季の森小学校と上白根中学校の一小一中で構成されています。さらにブロック周辺の幼保小中高との連携を深める取組も行っています。

〈上白根中ブロックのテーマ〉

- 学習面での円滑な接続を意識した小中一貫カリキュラムの実践（小5・6と中1との接続）
- 小中で共通する課題解決のための特別支援教育の推進と実践
- 上中四季小サポーターズなどの地域教育力活用事業の充実

上白根中学校ブロックの取組紹介

〈児童生徒交流日〉

児童生徒交流日では中学校の授業を体験します。



また、部活動体験も行い、中学校の生徒が小学生の児童に中学校の部活動のことを教えています。



〈音楽交流会〉



中学生の合唱コンクール最優秀賞のクラスが、小学校の朝会で披露し、小学3年生が中学校の朝会で歌を披露しています。

〈上中四季小サポーターズ〉

地域の「上中四季小サポーターズ」の方々が、小学生中心に月1回土曜日に「土曜塾」を開催しています。また、中学校の定期テストに合わせて、土日に学習スペースを提供するなど、地域学校協働活動事業を展開しています。

〈合同会議・授業研〉



小中の教員が集って合同会議や授業研究会、研修会を年に数回行っています。子どもたちが安心して学べるように情報交換、また今後の小中9年間で育てる子ども像の見直しも行いました。

今年度も、夏休みの人権研修会を行う際に、パンを一緒に食べる昼食交流もしました。

